第１号議案

資料５

一般社団法人 日本医学会連合

＜平成 27 年度＞
事業報告書
決算報告書
監査報告書

自　　平成 27 年　4 月　1 日

至　　平成 28 年　3 月 31 日

事業報告書

自　平成２７年４月　１日
至　平成２８年３月３１日

概　況

法人化２年目を迎えた平成２７年度は、「当法人と会員（学会）の協同による横断的シンポジウム」「基礎、臨床、社会医学の交流強化」等の実現を見据えて事業計画を立案した。それに従って、「当法人と会員」あるいは「会員同士」の横のつながりの強化を目指し、そのために、会員に対する物心両面からの支援に積極的に取り組んだ。

また、事業計画の新企画事業として、「各学会との合同シンポジウムの開催」「各学会開催のフォーラム等との共催」「基礎・社会・臨床部会の内在する諸問題の抽出並びに対応検討」等を実現した。

その他、本年度は、加盟学会の要請を受けて、「新専門医制度説明会」および「研究倫理教育研修会」等の大規模集会の開催を実現した。

（常置委員会）

①企画運営会議　→　正副会長及び業務執行理事をもって組織し、日常的な会務の運営に関する事項について協議する。

②日本医学会連合あり方委員会　→　日本医学会連合に関する中長期的視点に立った検討を行う。

③総務委員会　→　事業計画立案、会員との連絡、会員からの要望への対応等。引き続き、規則等の策定に努める。

④財務委員会　→　予算・決算の作成、財産管理、財務諸表作成等、特に会費額を提案する。

⑤研究倫理委員会　→　研究倫理関連案件を中心に、利益相反へも対応。医学研究成果が適正かつ中立的な立場で公表されるための環境基盤の構築を進め、わが国の医学・医療レベルの向上に役立てる。

⑥研究推進委員会　→　卒前・卒後教育の改革、医学部出身基礎医学者の育成、基礎医学教育の充実、専門医制度と大学院の関係等について検討する。

（時限委員会）

①日本医学会総会あり方委員会　→　「第 30 回日本医学会総会 2019 中部」及び「将来の日本医学会総会のあり方」を検討する。

Ⅰ．組織の状況

１．会員数

１２６学会（平成２８年３月１５日現在）

２．平成２７年度新規入会の状況

３学会

No. 124　一般社団法人 日本認知症学会
（臨床部会内科系）

No. 125　一般社団法人 日本集団災害医学会
（社会部会）

No. 126　一般社団法人 日本小児血液・がん学会
（臨床部会内科系）

３．役員名簿

会　長	髙久 史麿
副会長	門田 守人、清水 孝雄、寺本 民生、岸　玲子
理　事	成宮　周、宮園 浩平、大江 和彦、遠山 千春、池田 康夫、小川 久雄、春日 雅人、門脇　孝、小池 和彦、三嶋 理晃、岩本 幸英、國土 典宏、小西 郁生、髙本 眞一、森　正樹
監　事	奥村　康、稲葉　裕、里見　進

Ⅱ．各種会議の開催

１．主な会議の内容

（１）平成２７年度定時総会

・日　時：平成２７年６月２４日（水）１４：００～１６：００
・場　所：日本医師会館　小講堂
・出席者：髙久史麿、久道　茂、門田守人、清水孝雄、寺本民生、
富野康日己、野田哲生、相澤好治、小川　彰、千田彰一、
成宮　周、實成文彦、岡井　崇、里見　進（以上、理事）
幕内雅敏、奥村　康（以上、監事）
・議　題：
第１号議案　平成２６年度日本医学会連合事業報告及び決算の件
第２号議案　平成２７年度日本医学会連合会費徴収の件
第３号議案　日本医学会連合役員選任の件
・議事の結果：平成２６年度の事業報告及び決算、平成２７年度の会費徴収が審議され、いずれも異議なく承認可決された。
役員選挙では、理事２０名、監事３名が選出されるとともに、会長候補として髙久史麿、副会長候補として、清水孝雄・岸玲子・寺本民生・門田守人の４名が決定した。

（２）平成２７年度第１回理事会

・日　時：平成２７年６月３日（水）１４：００～１４：４５
・場　所：日本医師会館　５０６会議室
・出席者：出席理事数　１７名、出席監事数　２名
・議　題：会長・副会長・業務執行理事の職務執行状況について（報告）
役員改選経過報告について（報告）
第１号議案　平成２６年度日本医学会連合事業報告及び決算の件
第２号議案　平成２７年度日本医学会連合会費徴収の件
・議事の結果：職務執行状況報告、役員改選経過報告の後、第１号議案平成２６年度事業報告及び決算、第２号議案平成２７年度会費徴収が審議され、いずれも原案どおり承認。

（３）平成２７年度第２回理事会

・日　時：平成２７年６月２４日（水）１３：００～１３：２０
・場　所：日本医師会館　５０６会議室

・出席者：出席理事数　１２名、出席監事数　２名
・議　題：第１号議案　日本医学会連合役員改選候補者の件
・議事の結果：役員改選候補者の一覧表が理事会に提示され、定時総会での役員選挙はこの一覧表に基づいて行うことを承認。

（４）平成２７年度第３回理事会
・日　時：平成２７年６月２４日（水）１６：１０～１６：３０
・場　所：日本医師会館　５０６会議室
・出席者：出席理事数　１４名、出席監事数　１名
・議　題：第１号議案　日本医学会連合会長及び副会長の選定等
・議事の結果：定時総会で会長候補になった髙久史麿及び副会長候補になった門田守人・清水孝雄・寺本民生・岸玲子が、会長、副会長にそれぞれ選定された。さらに、会長は代表理事に、副会長は業務執行理事に就任することも確定した。

（５）平成２７年度第４回理事会
・当法人定款第３２条第２項（決議の省略）により、文書にて「日本医学会連合委員会委員長及び委員の選任の件」を諮った結果、８月１９日までに理事全員から文書により同意を、また、監事から異議がない旨の意思表示を得たので、理事会の決議があったものとみなされた。

（６）平成２７年度第５回理事会
・日　時：平成２７年１２月２１日（月）１４：００～１４：４０
・場　所：日本医師会館　５０６会議室
・出席者：出席理事数　１８名、出席監事数　１名
・議　題：会長・副会長の職務執行状況について（報告）
委員会委員長交代・委員追加について（報告）
日本医学教育評価機構社員について（報告）
日本医療安全調査機構委員会委員推薦について（報告）
他団体への後援及び共催等について（報告）
第１号議案　業務執行理事の選定の件
第２号議案　平成２８年度定時総会等開催日の件
・議事の結果：各報告事項の後、第１号議案として小池和彦・國土典宏理事が業務執行理事に選定された。第２号議案は、６月１７日に平成２８年度定時総会、５月３０日に平成２８年度第１回理事会の開催日が承認された。

２．その他会議開催状況

（１）企画運営会議

第１回(平成 27 年 4 月 15 日（水）　14：30～15：00)

出席者：髙久会長、久道・門田副会長、寺本・富野理事

協議　１．第１回理事会・第２回理事会・定時総会次第の件

→標記会議の次第内容（議題）を検討し、決定。

２．第１回理事会・第２回理事会・定時総会開催案内の件

→日本医学会の評議員は日本医学会連合の「会員代表者」であるが、改めて連絡委員を「会員代表者に準ずる者」として扱い、総会に出席するときは委任状を不要とすることも決定。

３．役員候補者推薦書発送の件

→理事候補の推薦数を各部会一律「２名」とすること、偽造防止のため推薦書に割り印をすること、事務管理上推薦学会名の欄を設けたことを伝えて記入を促す。

第２回（平成 27 年 5 月 13 日（水）　14:30～15：00)

出席者：髙久会長、久道・門田副会長、寺本・富野理事

報告　１．役員候補者推薦書発送後の経過について

→５月１３日現在、１６学会から回答（推薦書）あり。

協議　１．第１回理事会（H27.6.3）提出資料の件

→「平成２６年度日本医学会連合事業報告及び決算の件」、「平成２７年度日本医学会連合会費徴収の件」が承認された。

第３回（平成 27 年 6 月 17 日（水）　13：00～13：30)

出席者：髙久会長、久道・門田・清水副会長、寺本・富野理事

協議　１．「脳心血管病予防に関する包括的リスク管理チャート」作成にあたっての制作費用負担協力のお願いの件

→５０万円の協力要請があり、協力することになった。

２．会議用傷害保険の見積書の件

→期限切れとなる標記傷害保険を、再契約することになった。

３．その他

→６月２４日開催の定時総会において配付される「役員選任の手順」「次期役員候補者一覧」および投票用紙を確認した。

第４回（平成 27 年 7 月 15 日（水）　14：30～15：00)

出席者：髙久会長、門田・清水・寺本・岸副会長

報告　１．会議用傷害保険の契約について

→昨年同様、標記保険契約を行った。暫定保険料は 18,850 円。

２．平成２７年度理事会・定時総会の議事要旨について
→去る６月２４日に開催された第２回・第３回理事会、定時総会の議事要旨が報告された。近日中に会員に送付予定。
３．平成２６年度貸借対照表の共同サイト掲載について
→定時総会で承認された平成２６年度の貸借対照表を公益法人協会の共同サイトに掲載する手続きを行う。

協議　１．一般社団法人　日本医学教育評価機構の件
→当法人が設立時社員になること、さらに髙久会長が代表理事になることについて要請があり、いずれも了承。
２．平成２７年度会費徴収の件
→８月末日を締切として送金依頼することが決まった。
３．役員（理事・監事）の序列の件
→理事・監事の序列は、「基礎→社会→臨床内科系→臨床外科系」の順とし、さらに５０音順に並べることとなった。
４．委員会設置の件
→平成２７年度の事業計画に従い委員会を設置。前年度の継続委員会なので、旧メンバーを中心に構成することになる。

第５回（平成 27 年９月２日（水）　16：00～16：30）
出席者：髙久会長、門田・清水副会長

報告　１．平成２７年度第４回理事会議事録について
→「委員会委員長及び委員の選任の件」について、書面による”決議の省略”をもって理事会に諮ったところ、８月１９日に決議があったので、議事録が作成された。
２．平成２７年度会費納入状況について
→９月末日までには１２３学会すべて納入の予定。

協議　１．企画運営会議開催日の変更の件
→平成２８年４月から「原則金曜日」に開催することを決定。
２．平成２７年度事業計画新企画事業の担当の件
→標記新企画事業の担当者を決定した。

第６回（平成 27 年 10 月 14 日（水）　14：30～15：00）
出席者：髙久会長、門田・清水・寺本・岸副会長

報告　１．平成２７年度会費入金一覧について
→123 学会、会員総数 936,024 人分、総額 52,951,200 円が入金されたとの報告があった。
２．日本専門医機構貸付について
→貸付は理事会決議事項のため、回答は控えたと報告された。

３．第１回「研究倫理を語る会」後援名義使用について
→標記の会合に対し、後援名義使用を承諾することを決定。

協議　１．日本医療安全調査機構支援及び委員推薦の件
→再発防止委員推薦は、堤晴彦氏（日本救急医学会所属・埼玉医科大学総合医療センター病院長）を推薦することが決定。

２．第８９回日本薬理学会年会シンポジウム共催及び援助の件
→共催の了承と、３０万円の援助を行うことを決定。

３．今後の予定の件
→第 5 回理事会（H27.12.21）、平成 28 年度第 1 回理事会（H28.5.30）、平成 28 年度定時総会（H28.6.17）に決定した。

第７回（平成 27 年 11 月 18 日（水）　14：30～15：00）
出席者：髙久会長、門田・清水・寺本・岸副会長

協議　１．日本医療安全調査機構事業資金支援（助成金）の件
→協議の結果、結論に至らず、保留となった。

２．日医女性医師支援センターとの合同シンポジウム共催の件
→共催として実施することが決定し、開催経費については、出席者の数に応じて按分する。

第８回（平成 27 年 12 月 16 日（水）　14：30～15：00）
出席者：髙久会長、門田・清水・寺本・岸副会長

協議　１．日本医学会連合第５回理事会資料の件
→標記会議の資料について打合せを行った。

２．第 89 回日本生化学会大会シンポジウム共催及び援助の件
→標記大会で行う２つのシンポジウム共催の了承と、１シンポジウムにつき２０万円、計４０万円の資金援助を決定。

３．その他
→新しい連絡協議会の名称を「平成 27 年度日本医学会連合加盟学会連絡協議会」とすることとなった。

第９回（平成 28 年１月 13 日（水）　14：30～15：00）
出席者：髙久会長、門田・清水・寺本・岸副会長、國土理事

報告　１．日本医学会連合第５回理事会議事録について
→標記会議の議事録を加盟学会に送付する件を確認。

２．日本専門医機構 アンケート回答並びに講師推薦について
→アンケートに回答したこと、さらに講師として市川家國氏を推薦したことが報告された。

３．その他
→「新専門医制度説明会」の会場を、大講堂に変更した。

協議　１．「第 30 回日本医学会総会 2019 中部」への助成金の件
→改めて検討することとなった。

第 10 回（平成 28 年 2 月 3 日（水）　14：30～15：00）
出席者：髙久会長、門田・清水・寺本・岸副会長、小池理事

報告　１．大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会支払いについて
→昨年末に開催された標記会議の当法人支払い分として、2,112,206 円の請求があった。

協議　１．日本医学教育評価機構への入会の件
→正会員として入会の案内があり、入会することとなった。

２．第 48 回アジア太平洋公衆衛生学術連合国際会議の後援名義使用許可願の件
→後援名義使用許可願があり、了承することとなった。

３．オープンサイエンスについてのアンケートの件（日本学術会議）
→当法人としては回答をしないことになった。

４．「第 30 回日本医学会総会 2019 中部」への助成金の件
→今年度は５０万円を助成することに決定した。

第 11 回（平成 28 年 3 月 2 日（水）　14：30～15：00）
出席者：髙久会長、門田・清水・岸副会長、國土理事

協議　1．平成２８年度日本医学会連合事業計画の件
→標記の件について大きな方向性を協議し、あとはメールでのやりとりで詳細を詰めていくことになった。

２．個人情報保護法への対応の件
→標記法律が改正される際に、「学術研究を目的とする機関若しくは団体又はそれらに属する者が学術研究の用に供する目的」の場合は、間違いなく適用除外されるか、また、専門医に関することは学術研究に含まれるかが問題提起され、必要に応じて、日本医学会連合が意見表明することを確認した。

（２）日本医学会連合あり方委員会

門田守人日本医学会連合副会長を委員長とする標記委員会は、跡見裕（杏林大学長）、加藤聖子（九大教授）、門脇孝（東大教授）、桐野髙明（国立病院機構理事長）、遠山千春（筑波大客員教授）、野田哲生（がん研究会代表理事）、髙本眞一（三井記念病院長）委員が参画している。

第１回委員会を平成２７年８月２６日に開催し、既に実施していた「各学会の将来計画、将来構想、あり方等に関するアンケート調査」について検討を行った。今後、委員会としての活動を俊敏にするため

に、「将来計画委員会等連絡協議会に関する作業部会」および「医学教育のあり方に関する作業部会」を設置することを決定。後者から提案されたプログラムを基に平成２８年２月２日に「新専門医制度説明会」（後述）を開催することになった。

また、平成２７年１２月８日および平成２８年１月２１日の両日には、「将来計画委員会等連絡協議会に関する作業部会」を行い、来年度の連絡協議会開催を目指して動き始めた。

（３）総務委員会

総務委員会は、小池和彦委員長（日本医学会連合理事）をはじめとして、五十嵐隆（国立成育医療研究センター理事長）、大江和彦（東大教授）、大野茂男（横浜市大教授）、小西郁生（京大教授）、櫻山豊夫（東京都児童相談センター所長）、瀬戸泰之（東大教授）、髙﨑芳成（順大教授）の各委員から構成されており、寺本民生副会長が担当している。

平成２７年１１月４日に第１回委員会を開催し、６月に行われた「役員選挙の振り返り」と、「各部会に内在する諸問題への対応」について検討を行った。前者については、「民主的で公正に行われた」との評価であり、総務委員会としては、２年後の役員選挙も大筋今回同様のやり方で実施することで意見が一致した。

後者については、小池委員長を中心とした作業部会でまとめたプログラムに従い、平成２８年２月２３日に「平成２７年度日本医学会連合加盟学会連絡協議会」（後述）を開催することを決定した。

なお、平成２７年４月７日及び６月２２日、前執行部の下で役員選挙に関わる作業を行った。

（４）財務委員会

財務委員会は、伴信太郎委員長（名大教授）以下、寺田純雄（医科歯科大教授）、斎藤博久（国立成育医療研究センター副所長）、渡邉聡明（東大教授）、坂本哲也（帝京大教授）、滝川一（帝京大医学部長）委員で構成され、門田守人副会長と國土典宏理事が担当している。

第１回委員会が、平成２８年１月１８日に開催され、「平成２７年度予算執行見込み」および「平成２８年度予算についての基本的考え方」等について検討を行った。

前者については、平成２７年９月３０日をもって、平成２７年度会費が全納（１２３学会、会員総数 936,024 人、入金総額 52,951,200 円）されたこと、上半期（４月～９月）は役員選挙のため活動が停滞したた

め金銭の動きが鈍いが、下半期（１０月～３月）の執行見込みが１２００万円以上となること、それでも約３６００万円の剰余金が出る見込みであることが報告された。

後者については、今後の日本医師会との関係性によってかなり変動が生ずることを念頭に、委員会での協議の結果、「平成２８年度の会費徴収については、現行通り（５万円＋（５０円×会員数））とする」こととなった。

なお、平成２７年５月１３日、前執行部による平成２６年度決算について検討を行った。

（５）研究倫理委員会

標記委員会は、岸玲子副会長が担当し、市川家國委員長（信大特任教授）他、中山和久（京大教授）、代田浩之（順大教授）、仁尾正記（東北大教授）、近藤尚己（東大教授）、山口厚（早稲田大教授）、大前和幸（慶大教授）委員のメンバーで構成されている。

第１回委員会は、平成２７年１１月１８日開催し、３名の参考人を招聘した。最初に福嶋義光信大教授が「今日のゲノム医学・医療の倫理的問題」を、続いて、位田隆一同志社大特別客員教授が「先端医学研究の倫理的課題―俯瞰的検討―」を、最後に藤原康弘がん研究センター副院長が「始まった倫理審査委員会認定制度」をそれぞれ話題提供した。また、来年度開催予定の第２回研究倫理教育研修会についても検討された。

平成２７年１２月２５日に研究倫理委員会・日本医学会利益相反委員会・日本医学会雑誌編集者組織委員会の３委員長による、「第２回研究倫理教育研修会」の打合せ会が開かれ、プログラム案等について意見交換を行った。

なお、平成２７年５月１５日、前執行部の下、「第１回研究倫理教育研修会」を開催した。

（６）研究推進委員会

横溝岳彦順大教授を委員長とする標記委員会は、今村健志（愛媛大教授）、岡部繁男（東大教授）、鈴木敬一郎（兵庫医大教授）、南学正臣（東大教授）、橋本英樹（東大教授）、松田秀一（京大教授）、吉田素文（九大教授）、吉村昭彦（慶大教授）委員で活動中。清水孝雄副会長が担当。

前回委員会（平成２６年１０月）で決定された「定性的な調査」の方策を、当初のWEBアンケート調査から、面談形式の聞き取り調査に変更することがメール会議で了承されたため、公式の委員会は開催せず、メ

ール会議と打合せ会を経て、計３回の聞き取り調査を行った。

それらを踏まえた上で、第１回委員会を、平成２８年１月２９日に開催し、「平成２７年に行った聞き取り調査報告」および「提言の素案作成の役割分担と素案作成スケジュール」等について協議を行った。

聞き取り調査は、研究推進委員会委員により推薦された「現在、基礎系・社会医学系研究者として活躍している若手研究者」および「基礎系研究の経験を有しているが、現在、臨床に従事している若手医師」１０名を対象として３回に分けて実施し、詳細な分析は現在進行中である。

（７）日本医学会総会あり方委員会

日本医学会総会あり方委員会は、齋藤英彦委員長（名古屋医療センター名誉院長・名古屋大学名誉教授）を筆頭に、池田康夫（日本専門医機構理事長）、北川雄光（慶大教授）、小林廉毅（東大教授）、小森貴（日医常任理事）、髙橋雅英（名大医学部長）、福田恵一（慶大教授）、宮園浩平（東大教授）、門田守人（がん研究会理事）委員で構成され、担当は寺本民生副会長。

当該委員会は、２０１９年に名古屋を中心に、「第 30 回日本医学会総会 2019 中部」が開催されることから、総会会頭である齋藤英彦先生を委員長として、「2019 年の日本医学会総会のあり方」および「将来の日本医学会総会のあり方」の検討を行うことを目的に設置された。

第１回委員会は、平成２７年８月 27 日に開催され、京都で開催された「第 29 回日本医学会総会 2015 関西」を振り返り、次回開催される医学会総会についてフリートーキングを行った。また、平成２年にまとめた「日本医学会総会あり方委員会報告」についても検討を行った。

その結果、今後、日本医学会総会のあるべき姿を検討して報告書を作成することが決定した。

第２回委員会は、１２月１８日に開催され、「2019 年日本医学会総会の準備状況について」および「日本医学会総会のあり方についてのアンケート調査（案）」の検討を行い、１２３学会、４７都道府県医師会、日本病院会会員（2450 名）に対して実施した。

Ⅲ．新企画事業の執行状況

（１）研究倫理教育研修会の開催

研究倫理教育研修会は、日本医学会連合研究倫理委員会・日本医学雑誌編集者組織委員会・日本医学会利益相反委員会の３委員会合同の研修会である。その目的は、研究倫理のあり方、研究倫理問題の予防と発生時の対応について情報を共有し、会員の教育啓発に活かすことである。

第１回となる研究倫理教育研修会は、「医学研究倫理を考える」をテーマとして、平成２７年５月１５日に日医会館大講堂で開催した。参加者は、９７学会、１２０名。

プログラムは下記のとおりである。

・「医学研究と倫理」（河上裕　慶大研究科委員長）
・「医学研究成果公表における著者資格と研究不正およびその防止」
（北村聖　東大医学教育国際研究センター教授）
・「医学系研究に係る利益相反マネージメントの考え方とその実際」
（曽根三郎　徳島大名誉教授）
・「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の概要
（福井次矢　聖路加国際大学理事長）
・「あらためて研究倫理とは何か～医の倫理との異同を考える」
（橳島二郎　東京財団研究員）

（２）新専門医制度説明会

日本医学会連合あり方委員会が、１２３学会に対して行ったアンケートの中で、特に専門医制度に関する意見が多数寄せられたことから急遽企画された。プログラム内容も日本医学会連合あり方委員会による。

説明会は、平成２８年２月２日に日医会館大講堂で開催した。

二部構成とし、第一部は新専門医制度の概要説明、第二部は質疑応答となっている。参加者は、９５学会、２０３名。

・「新専門医制度が目指すところ―専門医の質の向上に向けて―」
（池田康夫　日本専門医機構理事長）
・「基本領域　専門研修プログラム形成」
（四宮謙一　専門研修プログラム研修施設評価・認定部門委員長）
・「新たな専門医制度について　専門医の認定と更新」
（水谷修紀　専門医認定・更新部門委員長）
・「新しい専門医制度～指導医の役割～」
（小西靖彦　専門研修プログラム研修施設評価・認定部門リーダー）

（３）日本医学会連合加盟学会連絡協議会

この連絡協議会の開催趣旨は、従来、とかく部会内に在りながらあまり表面に出なかった問題点をあえて表面化させ、組織横断的に検討を行い、内容によっては、翌年度の事業計画に盛り込み、予算を計上した上でその解決に向けた活動を行うことにある。

本年度のテーマは、日本医学会連合あり方委員会が行ったアンケートを参考に総務委員会の作業部会によって選ばれた。

標記連絡協議会は、平成２８年２月２３日に日医会館小講堂で開催された。参加者は、９９学会、１００名である。

まず、会議の趣旨説明があり、その後、「各部会における課題と日本医学会連合の役割」と題して、下記の課題についてプレゼンの後、質疑応答を行った。

①医学研究の推進について：研究推進委員会からの中間報告
（橋本英樹　研究推進委員会委員）

②社会医学系の専門医制度に向けて―現状とこれから―
（今中雄一　社会医学系専門医協議会　委員会委員長）

③臨床医教育の連続性と統合について
（北村聖　東大医学教育国際研究センター教授）

最後に、全体協議を行って、協議会を終了した。

（４）大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会

標記連絡会は、日本医学会連合と日本医師会が共催して、平成２７年１２月１８日に日医会館大講堂で開催した。

当日は、「日本医師会の女性医師支援に関する取り組みについて」と題する講演、事例発表４題（旭川医科大学、久留米大学、日本循環器学会、日本リハビリテーション医学会）の後、意見交換が行われた。

当日の学会関係参加者は、４９学会、６６名であった。

（５）各学会開催のフォーラム等との共催

①共催

・第８９回日本薬理学会年会シンポジウム共催
・第８９回日本生化学会大会シンポジウム共催

②後援名義使用

・第１回研究倫理を語る会
・第４８回アジア太平洋公衆衛生学術連合国際会議

（以　上）

附　属　明　細　書

特に記載すべき重要な事項はありません。

決算報告書

貸借対照表
（平成28年3月31日現在）

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ．資産の部			
1．流動資産			
現金預金	79,972,823	43,989,814	35,983,009
流動資産合計	79,972,823	43,989,814	35,983,009
2．固定資産			
特定資産	0	0	0
その他の固定資産	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資　産　合　計	79,972,823	43,989,814	35,983,009
Ⅱ．負債の部			
1．流動負債			
未払金	352,863	399,654	-46,791
預り金	20,420	20,420	0
流動負債合計	373,283	420,074	-46,791
2．固定負債			
引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負　債　合　計	373,283	420,074	-46,791
Ⅲ．正味財産の部			
1．一般正味財産	79,599,540	43,569,740	36,029,800
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	79,599,540	43,569,740	36,029,800
負債及び正味財産合計	79,972,823	43,989,814	35,983,009

平成27年度損益計算書
（正味財産増減計算書）

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費	52,951,200	52,014,950	936,250
雑収益	11,347	5,418	5,929
受取利息	11,347	5,418	5,929
経常収益計	52,962,547	52,020,368	942,179
(2)経常費用			
事業費	7,023,790	959,980	6,063,810
旅費交通費	3,703,853	805,760	2,898,093
通信運搬費	108,924	8,200	100,724
消耗品費	8,501	－	8,501
印刷製本費	19,440	－	19,440
賃借料	478,000	125,000	353,000
諸謝金	205,240	－	205,240
助成費	1,700,000	－	1,700,000
委託費	516,510	－	516,510
接待交際費	212,916	－	212,916
会議費	47,078	21,020	26,058
図書・文献購入費	23,328	－	23,328
管理費	9,908,957	7,490,648	2,418,309
旅費交通費	970,398	666,949	303,449
通信運搬費	136,538	97,398	39,140
消耗品費	15,239	17,620	-2,381
印刷製本費	45,360	99,672	-54,312
賃借料	240,000	186,000	54,000
保険料	-2,258	31,951	-34,209
諸謝金	269,280	418,310	-149,030
租税公課	70,000	70,650	-650
委託費	7,113,382	5,287,081	1,826,301
諸会費	900,000	500,000	400,000
会議費	6,406	13,713	-7,307
支払手数料	144,612	101,304	43,308
経常費用計	16,932,747	8,450,628	8,482,119
当期経常増減額	36,029,800	43,569,740	-7,539,940
2、経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	36,029,800	43,569,740	-7,539,940
一般正味財産期首残高	43,569,740	0	43,569,740
一般正味財産期末残高	79,599,540	43,569,740	36,029,800
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	79,599,540	43,569,740	36,029,800

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針
   (1)消費税等の会計処理
      ・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産
      該当なし

3. 担保に供している資産
      該当なし

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高
      該当なし

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高
      貸倒引当金の計上をしていない

6. 保証債務等の偶発債務
      該当なし

7. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価および評価損益
      該当なし

8. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高
      該当なし

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
      該当なし

10. 関連当事者との取引の内容
      該当なし

11. 重要な後発事象
      該当なし

12. リース取引関係
      該当なし

附属明細書

1. 特定資産の明細

該当なし

2. 引当金の明細

該当なし

監査報告書

平成２８年５月２５日

一般社団法人 日本医学会連合
会　長　髙久　史麿　殿

一般社団法人 日本医学会連合
監事　奥村　康　㊞
監事　稲葉　裕　㊞
監事　里見　進　㊞

平成２７年４月１日から平成２８年３月３１日までの事業年度における一般社団法人日本医学会連合の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

１．監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の状況等の報告を受け、随時説明を求めました。

２．監査の結果

（１）事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
（２）理事の職務に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
（３）当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
（４）計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上

平成27年度 収支決算書

（単位：円）

科目			予算額	決算額	差額
収入					
	会費収入		51,500,000	52,951,200	-1,451,200
	雑収入		2,000	11,347	-9,347
		受取利息	1,000	11,347	-10,347
		雑収入	1,000	0	1,000
事業活動収入計			51,502,000	52,962,547	-1,460,547
支出					
	事業費		30,010,000	7,023,790	22,986,210
		委員会費	16,240,000	1,754,220	14,485,780
		日本医学会連合あり方委員会費	1,255,000	184,920	1,070,080
		旅費	945,000	93,450	851,550
		資料費他	310,000	91,470	218,530
		総務委員会費	2,025,000	262,232	1,762,768
		旅費	1,575,000	210,020	1,364,980
		資料費他	450,000	52,212	397,788
		財務委員会費	1,255,000	84,180	1,170,820
		旅費	945,000	52,180	892,820
		資料費他	310,000	32,000	278,000
		研究倫理委員会費	2,025,000	323,708	1,701,292
		旅費	1,575,000	284,380	1,290,620
		資料費他	450,000	39,328	410,672
		研究推進委員会費	5,125,000	575,206	4,549,794
		旅費	1,575,000	217,305	1,357,695
		資料費他	3,550,000	357,901	3,192,099
		日本医学会総会あり方委員会費	1,365,000	323,974	1,041,026
		旅費	945,000	211,244	733,756
		資料費他	420,000	112,730	307,270
		プロジェクト委員会費	3,190,000	0	3,190,000
		旅費	2,520,000	0	2,520,000
		資料費他	670,000	0	670,000
		推進費	8,620,000	3,821,276	4,798,724
		医学研究の方向性検討費	600,000	0	600,000
			600,000	0	600,000
		研究倫理教育研修会費	345,000	141,000	204,000
		旅費	45,000	0	45,000
		資料費他	300,000	141,000	159,000
		連絡協議会費	1,230,000	509,496	720,504
		旅費	450,000	219,074	230,926
		資料費他	780,000	290,422	489,578
		合同ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ開催費	2,345,000	2,112,206	232,794
		旅費	945,000	2,112,206	-1,167,206
		資料費他	1,400,000	0	1,400,000
		学会ﾌｫｰﾗﾑ共催費	3,000,000	700,000	2,300,000
		学会交流強化費	550,000	0	550,000
		基礎･社会･臨床交流強化費	550,000	358,574	191,426
		業務費	3,750,000	1,448,294	2,301,706
		旅費交通費	500,000	83,700	416,300
		通信運搬費	100,000	108,924	-8,924
		消耗品費	100,000	8,501	91,499
		印刷製本費	200,000	19,440	180,560
		賃借料	100,000	0	100,000
		諸謝金	500,000	0	500,000
		租税公課	100,000	0	100,000
		助成費	500,000	1,000,000	-500,000
		委託費	300,000	0	300,000
		広報費	500,000	0	500,000
		諸会費	100,000	0	100,000
		接待交際費	600,000	212,916	387,084
		会議費	100,000	14,813	85,187
		図書･文献購入費	50,000	0	50,000
		予備費	1,400,000	0	1,400,000
	管理費		22,430,000	9,908,957	12,521,043
		役員会費	6,080,000	922,898	5,157,102
		理事会費	4,840,000	898,898	3,941,102
		旅費	4,140,000	866,898	3,273,102
		資料費他	700,000	32,000	668,000
		企画運営会議費	1,240,000	24,000	1,216,000
		旅費	1,000,000	24,000	976,000
		資料費他	240,000	0	240,000
		総会費	2,750,000	103,940	2,646,060
		総会費	2,750,000	103,940	2,646,060
		旅費	2,070,000	70,460	1,999,540
		資料費他	680,000	33,480	646,520
		事務費	13,300,000	8,882,119	4,417,881
		旅費交通費	500,000	9,040	490,960
		通信運搬費	250,000	136,538	113,462
		消耗品費	100,000	15,239	84,761
		消耗什器備品費	200,000	0	200,000
		印刷製本費	400,000	45,360	354,640
		光熱水費	300,000	0	300,000
		賃借料	100,000	208,000	-108,000
		諸謝金	500,000	269,280	230,720
		租税公課	300,000	70,000	230,000
		委託費	7,000,000	7,079,902	-79,902
		広報費	1,000,000	0	1,000,000
		諸会費	2,000,000	900,000	1,100,000
		会議費	200,000	6,406	193,594
		図書･文献購入費	200,000	0	200,000
		支払手数料	200,000	144,612	55,388
		保険料	50,000	-2,258	52,258
		予備費	300,000	0	300,000
事業活動支出計			52,440,000	16,932,747	35,507,253
事業活動収支差額			-938,000	36,029,800	-36,967,800
前期繰越収支差額			-	43,569,740	-
次期繰越収支差額			-	79,599,540	-